

平成 24 年度第 1 回機器及び安全に関する委員会 議事録

日時：平成 24 年 5 月 25 日（金） 15:00～17:00

場所：新高輪プリンスホテル国際館パミール 2F「若菜」

参加者（14 名、敬称略）：秋山いわき、中谷敏、蜂屋弘之、梅村晋一郎、石原謙、名取道也、上妻志郎、飯島尋子、近藤隆、桑田知之、内藤みわ、山口匡、立花克郎、新田尚隆（記録）

議事

1. 前回議事録確認（資料 1, 2）

- ・ 第 4 回議事録について確認した。

2. 音響放射力の生体への影響検討小委員会報告

- ・ 科研費及び日超医研究開発班の継続が報告された。
- ・ ISNA19(International Symposium on Nonlinear Acoustics)にて発表した。
- ・ 第 85 回学術集会の研究開発班発表会及びワークショップにて発表した。

3. 精度管理手法検討小委員会報告（資料配布）

- ・ 「超音波診断装置の精度管理」についてとりまとめた報告が以下のようになされた。
- ・ 超音波診断装置やプローブに寿命があることを、一般ユーザーに周知することが目的。
- ・ 画像劣化の代表的な原因には、エレメント破損、接触不良、送信回路の劣化、受信回路の故障、レンズの劣化・摩耗がある。
- ・ プローブは構造的に弱いものであることを知って頂く。
- ・ プローブの耐用年数を確認して頂く。
- ・ プローブの使用前点検について。
- ・ 電源投入前、投入後、終業時の点検について。
- ・ プローブ・装置の保守方法、取扱いの注意点について。
- ・ 劣化画像例の呈示（電源投入後の画像異常、素子欠損による画像異常）
- ・ 報告を了承して、小委員会を解散することとした。
- ・ 理事会にこの資料を提出する。

4. WFUMB、AFSUMB 安全委員会報告（資料 3）

- ・ AFSUMB 安全委員会で取りまとめた音響放射力に関する文書について説明がなされた。
- ・ この文書を修正の上、WFUMB 安全委員会に報告し、AFSUMB Councilors Meeting に提案する。

5. アンケートについて（資料 4）

- ・ 学術集会期間中に実施しているアンケートの取りまとめについて議論した。

6. SI 単位強制化について (資料 5, 6, 7)

- 血圧を除く生体内圧力の計量単位について、SI 単位を基本として、パスカル等へ移行するよう経産省から通達があった。
- この通達に反対する意見が多数あった。

7. その他

- TC87 ブラジル会議の報告。①ARFI のような不規則な長いパルスの超音波強度を評価するため、ハイドロホン測定法規格に「時間窓平均強度」の定義が追加された。②日本から分割 TMM 熱画像 TS (タイトル: Ultrasonics - Field characterization - Infra-red imaging techniques for determining temperature elevation in tissue mimicking material and in still air generated by ultrasound transducer) の新規提案を出すことになった。
- AFSUMB HP に安全に関する資料を置いてほしいという要望あった。委員長が本会資料を英約して作成することを了承した。

以上